

第82号

2022年12月
認定特定非営利活動法人

麦の会

TEL&FAX 022-299-1279

〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町17-1 郵便振替口座 02200-8-46178

E-mail: muginokai@k5.dion.ne.jp <https://www.muginokai-koppe.com>

目次	みやぎアピール大行動2022 アピール	… 1p
	県立精神医療センターの移転・統合について	山本 潔 … 2p
	静岡の地より	瀧戸 恵美 … 3p
	我が家レポート	ひろむの妹 … 5p
	漢字のかみさま⑦	神品 暖子 … 6p
	コッペ de クイズ	… 7p
	夏の事業所視察報告その2	… 8p
		鎌田 啓夢・落合 佑太 … 9p
		阿部 央希 … 10p
	旅はしてみるもの	飯嶋 茂 … 11p
	新聞記事より ふるさと返礼品	… 12p

今年もみやぎアピール大行動2022を9月18日に行いました。16回目です。今年のメインテーマは、障害者差別と優生保護法。優生保護法問題の全面解決をめざす全国連絡会共同代表の藤原 久美子さんを講師に迎え、ゲストスピーカーとして、旧優生保護法裁判原告 飯塚 淳子(仮名)さん、「強制不妊訴訟不当判決とともに立ち向かうプロジェクト」池澤美月さんからも発言いただきました。当日のアピール文を掲載します。

いのちを分けない社会へ ～障害者差別と優生保護法～ みやぎアピール大行動2022 アピール

『優生上の見地から不良な子孫の出生を防止する』(優生保護法第一条抜粋)ことを目的とした優生保護法は、障害者への差別を助長し続けた法律である。障害のある人や病気の人に強制的に不妊・中絶手術を行い、「不良」な存在だというレッテルを貼り、社会にも同様の価値観を強く根付かせた。2018年に強制不妊手術に対する謝罪と補償を求める裁判がここ仙台から始まり、全国的に広がる過程で、優生保護法によ

る被害の根深さと大きさがようやく認識されるようになった。被害者の多くがすでに高齢であり、これ以上解決までの時間を延ばさず、一刻も早く謝罪と補償の道筋を明確にすることが重要である。

優生保護法がもたらした問題は決して過去のものではない。多くの死傷者を出した津久井やまゆり園事件。その犯人の思想を支持するような一部の言動の存在。そのようなことに象徴される優生思想は今だ社会に存在している。

学ぶ場・働く場・暮らす場などで障害がないものとは別の扱いをされる状況が、長年続いているのである。

優生思想により誤った国の政策をただし、これまで助長してきた様々な差別意識の解消を求め、私たちはこれまで同様「私たち抜きに私たちのことを決めるな」と声を上げ続ける。

私たちはこれまで、障害者の生活をより困難なものにした障害者自立支援法に反対する運動で連帯してきた。これからもこの場に集まった仲間、集えずとも同じ思いを強く持っている仲間たちとともに、障害の有無やさまざまな立場を越え共に暮らせるみやぎをつくっていこう。そして、本日、みやぎアピール大行動に結集した私たちは、自信と誇りを胸に、16 回目の街へ出よう。

2022 年 9 月 18 日 みやぎアピール大行動 2022 参加者一同

県立精神医療センターの移転・統合について

山本 潔

県立精神医療センターは老朽化が進み、建てかえが必要になっていることは理解しています。

しかし、移転先が富谷では賛成しかねます。なぜなら、通院患者の大部分が県南や仙南地区に居住しており、地理的に富谷への通院はとても困難だからです。通院困難による治療中断と、それに伴う症状悪化の可能性は少なくないと思われます。

また、精神障害者が地域で暮らすには、単身者向けのアパートやグループホーム、事業所などの社会資源が必要になってきますが、こうした社会資源も富谷周辺には、ほとんど存在しません。精神障害者が地域で暮らすには、彼らを寛容に包摂するコミュニティが必要です。富谷の住民が病院移転に伴って移り住んできた精神障害者たちにどんな目を向けるか心配です。精神障害者に対する偏見や差別は、残念ながらまだまだ大きいのです。住民とのトラブルを恐れ、病棟運営は、ますます閉鎖的なものになってしまうでしょう。

それに加えて、病院経営が成り立ってゆくのかも心配です。富谷移転により、大半の通院患者は周辺の精神科クリニックや他の精神科病院に転院するでしょう。通院患者は大きく減少し、病院側は、外来で稼げなくなったぶん、精神科救急や入院医療で経営を成り立たせようという意識が働いてしまうのではないのでしょうか？これは、地域

医療から入院中心医療への逆行です。

県立精神医療センターの移転は、単なるハコモノの移転新築であってはなりません。「患者本人のための精神医療とはいかなるものか？」という根源的な問いから始めなくてはなりません。

そのためには計画を一旦白紙に戻し、患者本人や家族、病院スタッフなどの声を聞き、開かれた議論の場を保障することから始めてほしいと思います。

東日本大震災以降、商品を扱って下さっているとももの家の瀧戸さんから寄稿頂きました。

静岡の地より

ともの家施設長 瀧戸 恵美

私たちが宮城県の作業所の商品と出会ったのは震災の翌年あたりだったと記憶しています。何かやれることはないか。静岡の地より考えてはいても、日々の忙しさに追われ、ついつい後回しになってしまう。そんな時、あるイベントで皆さんの商品を見つけました。

さっそくコッペの飯嶋さんに連絡を取り、販売をさせて頂くことになって8年余りの歳月が経っています。

「Shop はなみずき」のこと

静岡市清水区役所1階の入り口で清水区内の12か所の事業所が共同経営しています。名前の由来「はなみずき」は静岡市のシンボルツリーで、春に白色や薄紅色のやさしい花が咲きます。お店の開店にあたり、静岡市との交渉に2年半の歳月が掛かりました。福祉にだけ特別に場所の提供を行うことは出来ないの一点張りの行政に対して、障害のある仲間たちの社会参加、働く場の提供、工賃アップが目的だと言うこと伝えました。協力を申し出てくれた市議会議員の協力もあり、目的外使用許可が下りたのが14年前、1年の準備期間を設け2009年に開店しました。区役所には多くの方が訪れますので、立ち寄って頂ける人数もとても多いお店で、食品の他に雑貨や飲み物（喫茶）も数種類提供しています。



宮城より購入している商品の中でも、油麩は予約をして帰るお客さまもいます。取り扱った当時、私たちはこの油麩というものの正体を知らず、そのまま食べてしまった職員もいましたので、料理方法を添えています。笑

13年が経ち、開店当時の職員が退職した事業所も多く、開店当時の目的や強い思いが薄れてきた感は否めません。解決しなくてはならない課題はありますが、お店開店時の理念を継承し、障害のある仲間たちの働く場を継続していきたいと思っています。

「ともの家」のこと

私の勤務する「ともの家」の紹介をさせていただきます。34年の歴史を持つ、障害のある仲間たちの働く場所です。どんなに障害が重くても働くことを柱にして、仲間はもちろん、親もそこで働く職員も豊かな人生を築く。こんな理念を掲げています。当初2名だった仲間も今は38名。今は受け入れをお断りせざるを得ない状況です。7年前には、街の気楽なパン屋さんをコンセプトに「パンと焼き菓子のお店 tomo」オープンしました。障害があるなしに関わらず、苦手なことを補い合いながら、やさしさを感じられる焼き菓子を製造販売しています。法律や制度では埋められない人と人との感情が交差するこの現場で、これからも人と人との温かさを感じながら、仲間たちと共に成長していきたいと思っています。

9月の台風被害のこと

9月23日秋分の日未明から降り出した雨は、予報を大きく上回る豪雨でした。私の住む静岡市清水区は、河川の氾濫による水害被害で、2mにも及ぶ床上浸水や、土砂崩れによる道路の遮断、7日間にも及ぶ断水など、前代未聞の被害に襲われました。静岡市の対応も非常に遅く、特に情報の提供をインターネットだけに頼りすぎたことによる、情報の入らない高齢者の孤立が顕著に現れ、2か月たった今でも県外より派遣された災害ボランティアをあちらこちらで見かけます。

「前代未聞」「想定外」それはそうでしょう。

しかし、全国で起きている自然災害から学んできたことがあるのでは？と首を傾げます。

被災当事者となった今、自助共助がいかに重要か痛感しています。

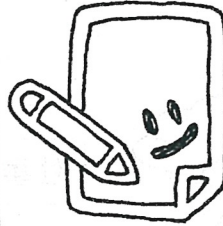


「しゃかりき体操マン」

NHKの「テレビ体操」を
日課にしている母。



←録画して



我が家
我レポート

ひろむの妹

こんにちは。
帰省をすると面白い発見がありますね。
まゆ毛とお鼻がそっくりな私たち兄妹は、
相変わらずちょっとモメながら
今年の夏も元気に過ごしました。

お休みの日は後ろで
一緒に体操をするひろむ。



(足さやるな)

礼の
レモン

真剣に体操をする母とひろむ、
それを見てニヤニヤする妹。



どんな動きも力みすぎています。



難しいステップは
真面目な顔で間違えます。

(その顔なに...?)



(スキップになってるよ...)

あとすごいお腹が出ます。

今月の暖子さん

仕事・漢字を頑張っています。

右 孤 四 御 取 切 猪 電 東 不 粉 無 意 悪
往 單 苦 子 捨 磋 突 光 奔 言 骨 我 頭 蚊 吉
左 倉 八 倉 選 琢 猛 石 西 実 碎 夢 蛇 間
往 闕 苦 也 扱 磨 進 人 走 行 身 中 尾 題

右 孤 四 御 取 切 猪 電 東 不 粉 無 意 悪
往 單 苦 子 捨 磋 突 光 奔 言 骨 我 頭 蚊 吉
左 倉 八 倉 選 琢 猛 石 西 実 碎 夢 蛇 間
往 闕 苦 也 扱 磨 進 人 走 行 身 中 尾 題

右 孤 四 御 取 切 猪 電 東 不 粉 無 意 悪
往 單 苦 子 捨 磋 突 光 奔 言 骨 我 頭 蚊 吉
左 倉 八 倉 選 琢 猛 石 西 実 碎 夢 蛇 間
往 闕 苦 也 扱 磨 進 人 走 行 身 中 尾 題

右 孤 四 御 取 切 猪 電 東 不 粉 無 意 悪 一
往 單 苦 子 捨 磋 突 猛 光 奔 言 骨 我 頭 蚊 吉 刻
左 倉 八 倉 選 琢 猛 石 西 実 碎 夢 蛇 間 千
往 闕 苦 也 扱 磨 進 人 走 行 身 中 尾 題 余

「ガリガリ」とは何のことでしょう？

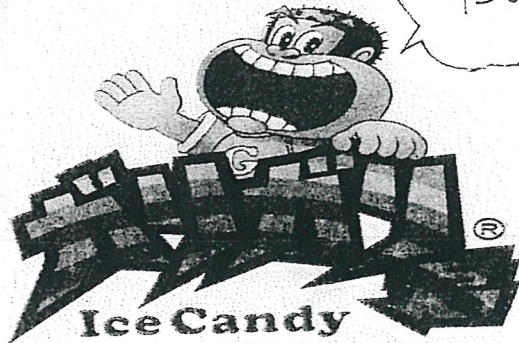
① すごく細くて履せていること。

② 飯嶋さんが忙しく仕事をする様子。

③ テーブルに残ったパン生地をスケッパーでそぎ落とすこと。

④ 夏の暑い作業場でおやつにガリガリ君が出ること。

⑤ ぱんじゅうに残ったパン生地をスケッパーでそぎ落とし、きれいに拭いてアルコールで消毒すること。



2022年夏の事業所視察報告 その②

夏の徳8月号でなんとなく始まった報告の続編です。

宮城県内10事業所、福島の1事業所に三日かけて行ってきました。

「みんなでお出かけ」「美味しいものを食べる」「好きなお土産を買い物する」「いろいろな仕事を知る」楽しい旅行でした。

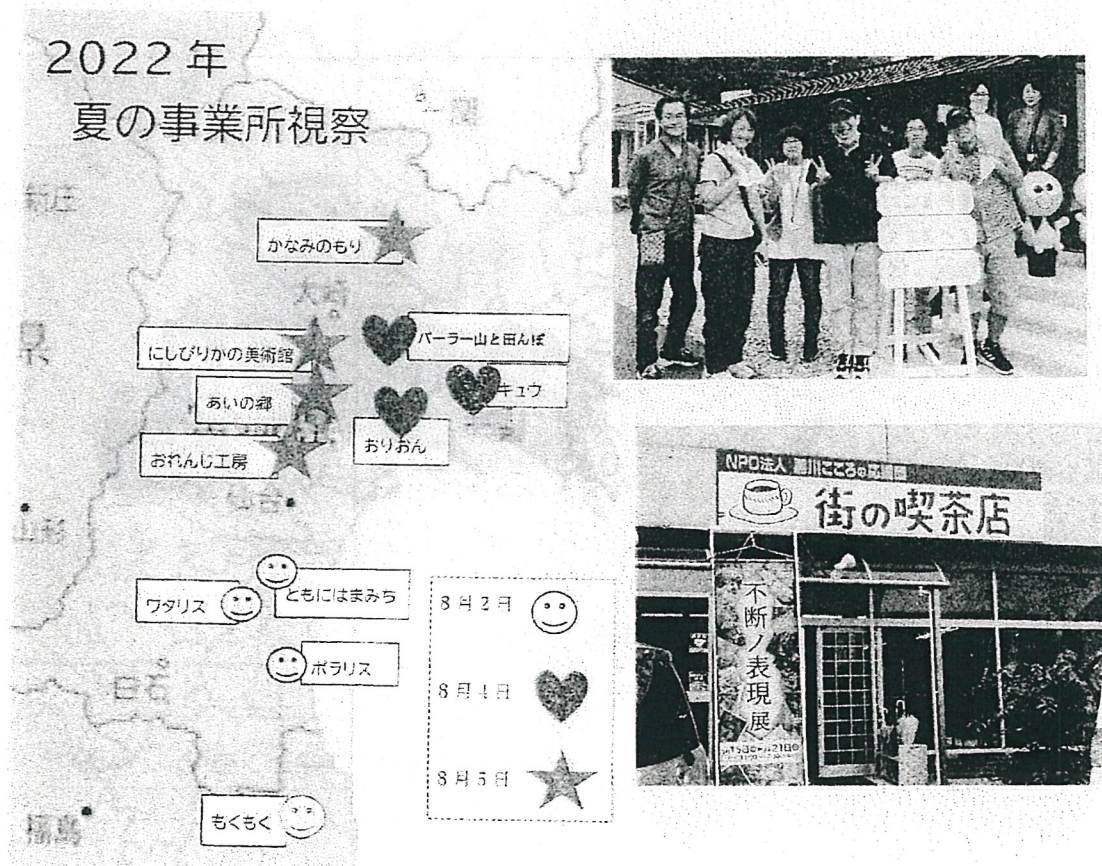
1日目…県南コース。ワタリス、ポラリス、ともにまみち、もくもく。

2日目…石巻コース。織音、パーラー山と田んぼ、パーラー山と田んぼ宮城生協大橋店、Kyuuu。

3日目…かなみのもり、にしびりかの美術館、あいの郷、おれんじ工房。

実際に作業所やグループホームを見学させていただき、資料を基に説明していただき職員にとっても貴重な経験になりました。福祉事業所とはいえ、提供しているサービスは多岐にわたっています。これからも情報を共有し、お互いに協力し合っていきたいです。

受け入れていただいた事業所の皆様、大変ありがとうございました。



登米市に行ってきました。8月5日金曜日に「奏海の杜」に見学をしました。コッペのみなさんと一緒に大和町にある「黒川こころの応援団」に寄りました。みんなが働いている様子を見学しました。お昼は喫茶店でたらこパスタを食べました。次は「あいの郷」でクッキーを買いました。パンを5個もらいました。富谷市にある「おれんじ工房」という視察見学しました。名誌をもらいました。泉にある「ダイン」をコッペご一行様と出かけました。とても楽しかったです。帰りは東仙台的のぼる台でおろしました。鎌田啓夢

石巻の織音に行ってきました。さおりおりを見ました。KYUUキューに行ってきました。パーラー山と田んぼ生協大橋店に行ってきました。パーラー山と田んぼに行ってきました。お昼はピザパンとナポリタンを食べました。登米市に行ってきました。おとま〜るに行ってきました。黒川こころの応援団に寄りました。お昼はワンタンメシとチャーハンを食べました。美術食館を見ました。さおりおりを見ました。

落合佐太

8月4日 木曜日

阿部 希

まずは菅野優実さんにうんでん
してもらいました。とてもいいリラックス
でした。音楽、きいてよかったと
思っています。あんせんでうれしいよ

織音行ってCDの入りがやさし
くてよかったと思ってとてもきれいに
やってうまいと思っています。

キューではコーヒーの入りがすばらしい
フィセル。僕はチーズケーキを買いました。
とてもいい感じでした。

ハーラー山とたんぼでからあげとナポリタン
でした。最高です。

優実さんとてもうんでんありがとう
おつかれさまでした。

共同連札幌大会に、車いすユーザーの友人 Sさんと一緒に参加した。今回は交通事情について書いてみたい。

札幌までは飛行機。行きはJAL、帰りはANAだった。

JALのカウンターで、電動車いすのバッテリーをマニュアルに沿ってチェック。手荷物・車いすと一緒に預けることができた。JALの車いすに移乗。結構かっこいいデザイン。搭乗口までお手伝いは必要ですか、と聞かれ大丈夫ですと返答。ところが手荷物検査場が結構混んでいる。ぐるっと見渡して車いすの優先マークをやっと発見。案内してもらえばよかったと後悔。機内へは優先搭乗。しかし、降りるときは一番最後。降りるときも優先して降ろしてくれればいいのと思うが、車いすの乗り降りとか考えると難しいか。

帰りの新千歳空港。配慮が必要な人のための専用のカウンターがありました。やるな千歳空港。こちらでもマニュアルに沿ってバッテリーチェック。専用窓口があっても時間がかかることは同じ。緩衝材で梱包されたバッテリーを、機内に持ち込んでくださいと手渡される。おみやげで荷物が増えたのに、これはつらい。JALは預かれて、ANAは機内持ち込み、この違いは何？わかる人がいれば教えて下さい。

仙台空港の教訓を生かし、搭乗口までは付き添いをお願いした。おかげで手荷物検査場まではスムーズに。しかし、検査場の人にバッテリーの形式を確認しなければならないので、緩衝材を取ってくれませんかと言われる。いやいやそれは窓口の人がチェックして緩衝材をつけたので、そちらに確認して下さいと私。せっかく専用窓口があるのに、進んでいるのかいないのかよくわからないやりとりでした。

交流会会場までは地下鉄移動。JR札幌駅から地下鉄札幌駅までのエレベーターが発見できず、商業施設のサービスカウンターで聞く。用意されている用紙で丁寧に教えてくれました。車いすで改札を通るとき駅員さんが何も言わないので、ホームと電車の段差がなく、スロープなしでも乗れるのかと思ったら結構な段差。こんなに段差があるのならなぜ駅員さんは何も言ってくれなかったのだろうか？でも、親切な方が手伝ってくれ、エレベーターの場所も教えてくれました。不便なところに出会いはあるのだ。

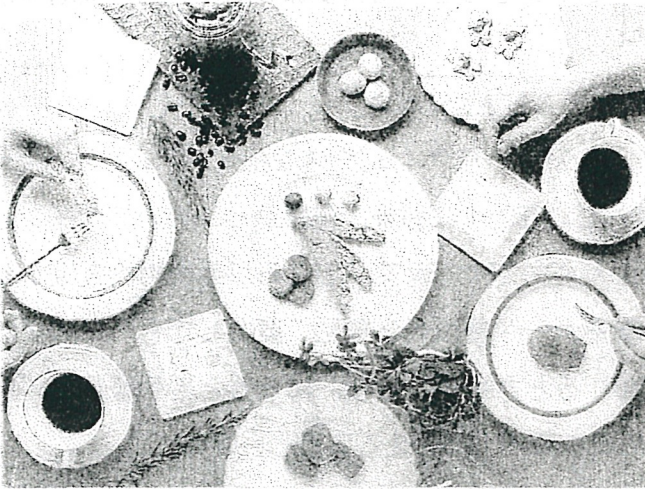
帰りの仙台空港駐車場。「優先」の場所に駐車していたのだが、ワイパーに「おもいやり駐車場利用証」掲示のお願いのチラシがはさんであった。宮城県では2018年から優先区画を利用する場合は、利用証を掲示することになっていますので掲示して下さいとの内容。私は事実車いすの人を乗せていたのだからそんな面倒なこといいだろう、と無人のコインパーキングでむなしく思いながら帰ったのでした。

宮城・ふるさと納税

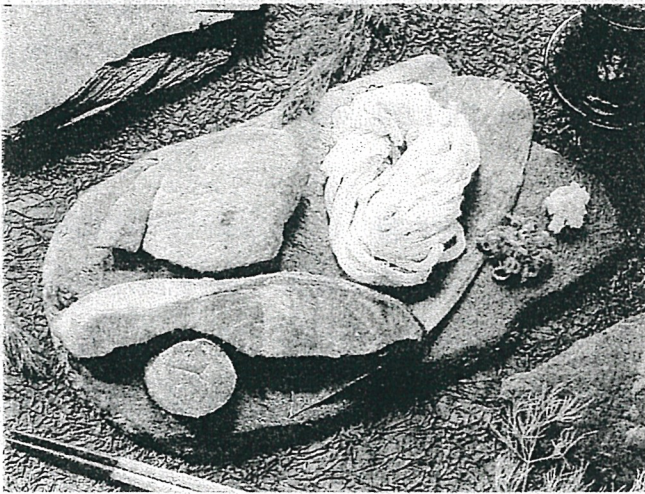
返礼に障害者の商品

障害者の工賃アップを目指す宮城県が、就労支援施設の商品セット2種類をふるさと納税の返礼品のラインアップに加えた。「宮城のおいしい伊達な時間」をコンセプトに、複数事業所の食品を組み合わせ、魅力を発信。返礼品競争での埋没回避を狙い、販路の確立を図る。

コーヒータイムにぴったり
の「伊達な茶話会」(寄付金
額5000円)は、7事業所
が製造したクッキーやマドレ
ーヌ、ドリップコーヒー計8
品を詰め合わせた。
3事業所が関わった「伊達



①焼き菓子がメインの「伊達な茶話会」
②地酒と合わせたい「伊達な晩酌プレート」



複数事業所組み合わせ2種類

「自立支援」売り込む

な晩酌プレート(同2万円)はメカジキやギンザケ、ホタテの燻製3品と生うどん、玄米石のプレートのセット。食材を盛り付け、宮城の地酒と楽しんでもらう趣向だ。

これまで単独の事業所の商品を返礼品にしたことはあつたが、全国の自治体が競って特産品を用意する中で苦戦。県は業務を委託したNPO法人みやぎセルプ協働受注センターや参加事業所と企画を練り、障害者の工賃に還元され、自立と社会参加に貢献できるというストーリーと共に売り込む方針を打ち出した。

箱や同封するリーフレットのデザインにも力を入れ、ふるさと納税の注文が集中する年末に向けて満を持して投入した。県障害福祉課は「返礼品の内容はもちろん、趣旨に興味を持ってくれる人を選んでほしい」とPRする。

ふるさと納税の仲介サイト「Mansaku」で注文できる。